

令和8年度 岩手県立大学宮古短期大学部
一般選抜B・外国人留学生選抜

小論文 解答例・出題の意図等

【問題全体についての出題の意図】

本問題は、ネット上で拡散する偽情報や誹謗中傷の現状と課題を題材に、出題文を正確に読み取り、内容を整理したうえで、自分の考えを論理的に表現する力（読解力・思考力・表現力）を評価することを目的としている。SNSにおける表現の自由への配慮と抑制の必要性、事業者・政府・利用者それぞれの責任について理解し、設問の趣旨に沿って意見を述べることが求められる。

〔問1〕

■解答例

ネット上で拡散する偽情報や誹謗中傷は社会に混乱をもたらし、人々を傷つけており、SNSを運営するプラットフォーム事業者と政府の役割は大きい。有識者会議は、問題となる情報を違法情報と、違法ではないが有害な情報に分類し、特に有害な情報には表現の自由に配慮した慎重な対応が必要だとした。偽情報が広がる背景には、閲覧履歴に基づく表示の仕組みや投稿の収益化があり、事業者の自主的対応を基本としつつ、利用者の意識向上も重要だと述べている。(212字)

■評価のポイント

出題文の中心的な内容である、偽情報・誹謗中傷の問題点、事業者・政府・利用者それぞれの役割について、要点を的確に捉え、簡潔に要約できているかを評価する。本文の趣旨を損なわず、過不足なく整理して表現できていることが求められる。

〔問2〕

■出題の意図・ポイント

本問題は出題文の内容を踏まえて自分の考えを構築し、「SNS利用における抑制と責任のバランス」というテーマについて、筋道立てて論じる力を見ることを目的としている。本文で示された、表現の自由への配慮、プラットフォーム事業者の自主規制と責任、行政の関与の在り方、そして利用者の姿勢といった観点を適切に理解したうえで、自分の意見として整理し、具体的かつ論理的に述べられているかが評価のポイントとなる。また、単なる賛否の表明にとどまらず、抑制と自由・責任の関係を多面的に捉え、説得力のある文章で表現できているかも重視される。